

=====

====

JAECS Newsletter No.12 (March 15, 1996)

英語コーパス研究会

会長 齊藤俊雄

事務局：〒560 豊中市待兼山町 1-8

大阪大学言語文化部 齊藤研究室

Tel：06-850-5866（直通） Fax：06-850-5865（齊藤宛）

E-mail: (E-mail address deleted)

=====

====

1. 第7回例会のご案内

英語コーパス研究会第7回例会は、4月20日（土）に大阪大学大学院言語文化研究科棟大会議室（〒560 豊中市待兼山町 1-8）で開催される運びになりました。例会のプログラムとレジュメを同封いたしますが、現代英語についての研究発表2つと史的コーパス Helsinki Corpus についてのシンポジウムがあります。多数の方のご参加を期待しております。

なお会場へのアクセスは、従来の阪急宝塚線利用のルートの他に、新幹線の新大阪駅から地下鉄とモノレール利用の便利なルートができました。

2. 『英語コーパス研究』第3号編集完了

機関誌第3号の編集がこのほど完了し、印刷所に手渡したところです。例会当日に会員の皆様に配布できる予定です。

研究論文4篇、研究ノート4篇、海外報告1篇、書評・ソフト紹介・コーパス紹介など5篇で、190ページほどのヴァリエティーに富んだものになりました。ご期待下さい。

3. 新入会員紹介

JAECS Newsletter No 11 発行以降の新入会員の方は、次の通りです(3月15日現在)。

成澤 義雄 (東北学院大学)

(E-mail address deleted)

4. Mailing List ‘Corpist’の積極的なご利用を

昨年夏に北大の園田先生のご尽力で、Internet 上に英語コーパス研究の情報交換の場 Corpist が出来ましたが、残念ながらまだ余り利用されておりません。今後、会員の皆さん方の積極的なご利用を期待しております。 Corpist への加入方法は、ただ1行 subscribe corpist と本文を書いたメールを (Subject:は空欄のまま) majordomo@ilcs.hokudai.ac.jp 宛に出すだけです。

(NIFTY-Serve からでも入れます。宛先に TO:INET:をつけるだけです。念のため) 投稿するためには、corpist@ilcs.hokudai.ac.jp 宛に出します。(なお設立趣旨や詳細な利用方法は JAECS Newsletter No. 10 をご参照下さい。)

5. 寄贈刊行物の紹介

英語コーパス研究会へ次の刊行物の寄贈がありましたので、掲載させていただきます。今後もコーパス研究関係の論文等を事務局宛にお送り下されば、逐次掲載させていただきます。

・森岡ハインツ・加藤泰彦編『海外言語学情報』第8号(大修館、1995) (深谷輝彦「コーパス言語学」の章あり)

・Sophia Linguistica, Vol. 38 (1995), Sophia University.

・新井洋一「OED 第2版 CD-ROM 版の言語コーパス的利用の諸問題」『英語英米文学』第35集 (中央大学英米文学会)、1995, 317-338.

・須賀廣・鷹家秀史「英語字幕データベースを利用した機能別英語表現の丁寧さ・語法・ニュアンスの研究」『岡山朝日研究紀要』第16号、1995, 3-59.

・須賀廣・鷹家秀史「光学文字読み取り装置を用いての英語構文使用頻度及び有効度の研究」『岡山朝日研究紀要』第17号、1996, 45-87.

・井上永幸「話し言葉における many について(1)?The Bank of English を使った分析一」『英語教育と英語研究』第12号、1995, 57-67.

・井上永幸「話し言葉における many について(2)?The Bank of English を使った分析一」『英語教育と英語研究』第13号、1996, 43-61.

6. 事務局からの連絡

◇会費納入のお願い

本年度会費未納の会員の方は、郵便振替でお納め下さい（口座番号：00940-5-250586 英語コーパス研究会）。年会費は、一般会員 4,000 円、学生会員 3,000 円です。所属等に変更・移動がある方は、お忘れなく通信欄にお書き添え下さい。

◇会誌の残部について

『英語コーパス研究』第 1 号、第 2 号は、残部がまだ若干ありますので、希望者にご連絡下さい（頒価は第 1 号 1,000 円〈送料込み〉第 2 号 1,500 円〈送料込み〉：郵便振替でお願いいたします）。

◇事務局の移動

会長の大阪大学定年退官に伴い、取りあえず、4 月 1 日以降、事務局は神戸大学国際文化学部の西村秀夫研究室(〒657 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 Tel/Fax: 078-803-0737 E-mail: (E-mail address deleted))に移動することになりました。4 月以降は、連絡・問い合わせは同研究室へお願いいたします。

FORUM

◆2 月 9～10 日、在外研究中のマンチェスター大学で Manchester Centre for Anglo-Saxon Studies 及び TOEBI (Teachers of Old English in Britain and Ireland) 共催による 'ELECTRONIC OLD ENGLISH: The Use of Computers in Old English Teaching and Research' と題されたワークショップが催されたので、簡単に報告したい。

2 日間にわたり次の 10 の発表があった。

データベース関係: 'The Fontes Anglo-Saxonici Database' by Mark Atherton (Manchester), 'The Electronic Study of Language' by Loredana Teresi (Manchester), 'The Old English Thesaurus' by Jane Roberts and Lynne Grundy (King's College London);

Electronic-Beowulf プロジェクト関係: 'The Electronic-Beowulf project' by Andrew Prescott (British Library), 'E-Beowulf Comes to Class' by Deborah Coombs and Kathryn

Powell (Notre Dame), 'Digitising Manuscripts for Research Purposes: The Case of Cotton Julius E.vii' by Donald Scragg (Manchester), 'Unveiling Cotton Vitellius D.xvii' by Joana Soliva (Manchester);

その他: 'The Toronto Corpus WordCruncher' by Linda van Bergen (Manchester); 'Using the Poetry Shell' by Ann Squires (Durham); 'Old English on the World Wide Web' by Stuart Lee (CTI Oxford).

全て研究成果の発表というより、副題が示すように、コンピュータの OE 研究及び教育への利用を紹介する内容であり、発表形態も具体的なデモンストレーションによるものであったので、OE を専門としない筆者も楽しむことができた。中でも Deborah Coombs and Kathryn Powell (Notre Dame) 及び Ann Squires (Durham) の発表は、独自の教育用プログラム（それぞれ Macintosh, PC 用で将来入手可能になるとのこと）のデモンストレーションであったが、専門教育の場における CAI の浸透を示すもので、印象に残った。

研究面では、Jane Roberts and Lynne Grundy (King's College London) の発表は、ICAME Journal 等で紹介されているプロジェクト Historical Thesaurus of English のパイロット・スタディーに位置づけられ、出版されたばかりの Jane Roberts and Christian Kay with Lynne Grundy (1996) A Thesaurus of Old English (King's College London Medieval Studies, XI) の On-line version によるデモンストレーションであった。OE のデータベース構築を目標とするプロジェクト Fontes Anglo-Saxonici は、まだ完成にいたっていないものの、将来 CD-ROM のかたちで公表できるよう、出版社と交渉中であるとのことであった。

水野 和穂 (広島修道大学: 現在 Manchester 大学で在外研究中

(E-mail address deleted))

◆インターネット上でコーパス検索が可能な HTI

英語コーパス研究会会員の皆さんの中には、すでにインターネットを研究や趣味に有効利用なさっていらっしゃる方も多いことと思います。Internet Search のひとつである infoseek で corpus linguistics を検索しますと、100 項目ものタイトルがリストされ(1996 年 2 月 21 日現在)圧倒されてしまいます。今回はそんな中で会員の皆さんにも興味を持っていただけたと思われまふ University of Michigan (UM) の Humanities Text Initiative (HTI) にある Public Domain Modern English Search(<http://www.hti.umich.edu/english/pd-modeng/>)をご紹介したいと思います。

Public Domain Modern English Search に集められているテキストは 1800 年代の中頃から 1900 年代の初期のものが中心で、その名の通りすでにいろいろなところで配布されているものではありませんが、全体の大きさは約 100 Mb、検索対象となるタイトルは本稿執筆段階で 686 にも及びます。このうち、Aesop's Fables などにはさらに複数の作品を含んでいるため、作品全体の数はさらに大きなものとなるでしょう。

Public Domain として検索できる機能は、UM の学生や大学関係者がアクセスする場合より若干制限されますが、それでも普通に使うには十分なものです。例えば、food を検索してみると 1285 件がヒットします。ここで注意しなければならないのは、この検索システムは単純な文字列検索なので、上の数字の中には foods といった例も含まれているということです。Boolean Searches では、複数の検索語を and/or/not を使って verse/paragraph/chapter/act/scene 単位での指定ができますし、Proximity Searches では同じく複数の検索語について near/preceded by/not near/not preceded by 及び within 80/120/40 characters などの条件で指定できます。例えば、food の前 80 文字以内に health が現われる例を指定すると、6 例が検索されました。すでに述べたように単純に文字列で検索しますので、実際には health 及び healthy が現われる例が検索されているわけです。さすがに food の直前に health(y)が現われる例ではありませんでしたが…。KWIC 形式表示はできませんが、[More]という箇所をクリックすれば、表示されたテキストの前後の文脈も簡単に見ることができます。このコーパスに集められた年代の資料が欲しい場合はもちろんのこと、気軽に利用して大きなコーパスの威力を体験するには、十分の内容ではないでしょうか。

井上永幸（島根大学 (E-mail address deleted)）

=====

====

JAECS Newsletter No.13 (May 27, 1996)

英語コーパス研究会 会長 齊藤俊雄 事務局
657 神戸市灘区鶴甲1-2-1 神戸大学国際文化学部 西村秀夫研究室
TEL/FAX 078-803-0737 (E-mail address deleted)
郵便振替口座 00940-5-250586 (英語コーパス研究会)

=====

====

1. 第7回例会無事終了

英語コーパス研究会第7回例会は、4月20日(土)に大阪大学大学院言語文化研究科棟大会議室で開催され、盛会裡に終了しました。学年始めで忙しい4月初旬の開催を避けたこともあって、これまでで最高の100名を超える出席者がありました。研究発表2つ、シンポジウム1つがありましたが、それぞれ活発に質疑応答があり、充実した例会でした。

例会当日の会場設営や受付事務では、会場校の今井光規委員・中村洋助手をはじめ、大阪大学の大学院生の方々に大変お世話になりました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

なお、来年度以降の春の例会の開催日程については、今後運営委員会で検討していきたいと考えております。

2. 第8回例会の日程と研究発表者募集について

◇1996年度の秋の例会(第8回例会)は、10月12日(土)午後、追手門学院大学(大阪府茨木市)を会場として開催されることになりました。

◇例会での研究発表を次の要領で募集いたします。発表を希望される方は、下記要領に従って、郵便・FAX・e-mailのいずれかで事務局にお申し込み下さい。

- ・募集締切 6月30日
- ・提出物 研究発表の題目と要旨(400~800字)
- ・発表時間 発表30分+質疑応答10分
- ・採否連絡 7月中旬(予定)
- ・内 容 英語コーパス研究会にふさわしい、コンピュータ利用・コーパス利用を中心に

据えたもの。

◇次回例会では西納春雄氏（同志社大学）を中心に、「インターネットとコーパス研究」関係のシンポジウムが企画されています。また、シンポジウムと連動する形で、午前中にインターネット関係のワークショップを予定しています。プログラムは9月初旬にお送りすることになります。

3. 『英語コーパス研究』第3号の刊行

機関誌『英語コーパス研究』第3号が3月末に完成し、例会当日、会員に配布されました。発送経費の都合で、ご欠席の会員にはこのニューズレターとともに送らせていただきました。悪しからずご了承下さい。

4. 『英語コーパス研究』第4号の原稿募集

『英語コーパス研究』第4号の原稿を次の要領で募集します。第4号も充実したものとなるように、会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

- ・原稿の種類 研究論文、研究ノート、コーパス紹介、ソフト紹介、書評、その他コーパス研究に有益な情報。いずれも『英語コーパス研究』誌にふさわしい、コンピュータ利用・コーパス利用を中心に据えたもの。
- ・投稿申込締切 6月30日（氏名、所属、原稿の種類とタイトルをお知らせください。）
- ・原稿提出締切 9月30日（ハードコピー4部提出。なお、フロッピーディスクは採用決定後に提出していただきます。）
- ・原稿の長さ 研究論文は原則として和文35字×30行で15枚以内、英文70ストローク×35行で15枚以内。和文・英文いずれの場合もAbstract（英文）、注、書誌を含みません。研究ノートは10枚以下、その他は研究論文の半分以下。
- ・書式 第3号所収の論文を参考にしてください。
- ・採否通知 11月中旬
- ・刊行予定 1997年3月25日

5. 新入会員紹介

JA ECS Newsletter No.12 発行以降の新入会員の方は、次の通りです（5月15日現在）。

伊藤 浩治（大阪大学大学院）

今里 典子（神戸市立工業高等専門学校）
埋橋 勇三（東洋大学）
大野 京子（大阪キリスト教短期大学）
岡田 啓（関西外国語大学）（E-mail address deleted）
貫名 緑（広島経済大学）
小泉 節子（金蘭短期大学）
篠田 和男（大分工業高等専門学校）（E-mail address deleted）
曾根 正子（追手門学院大学）（E-mail address deleted）
西本 まり子（広島大学大学院）（E-mail address deleted）
畠山 利一（大阪国際大学）（E-mail address deleted）
波多野 満雄（東洋大学）
原子智樹（北海学園北見短期大学）

6. 寄贈刊行物の紹介

JAECs Newsletter No.12 以降、英語コーパス研究会に次の刊行物の寄贈がありましたので掲載させていただきます。今後もコーパス研究関係の論文等を事務局宛てお送り下されば、逐次掲載させていただきます。

- ・田島松二編著『コンピュータコーパス利用による現代英米語法研究』（開文社出版 1995年）
- ・園田勝英『大学生英語語彙表のための基礎的研究』北海道大学言語文化部研究報告叢書 7 (1996)
- ・園田勝英『英語史研究とコーパス』文部省科学研究費補助金研究成果報告書(1996)

7. 会計報告

1995年度の決算報告は同封の別紙の通りで、総会にて承認されました。

8. 会員名簿について

例会当日会員名簿を配布しましたが、当日の訂正、その後の会員増等がありましたので、5月15日付けで訂正版を作成し、今回お送りしました。

今後とも、住所・所属の変更等がありましたら、必ず事務局にご連絡下さい。

9. 会費納入のお願い

本年度会費未納の会員の方には、郵便振替用紙を同封しておりますので、会費の納入をお願いします。年会費は、一般会員 4,000 円、学生会員 3,000 円です。2 年連続で会費の納入のない会員には本年度より Newsletter 等の送付を中止させていただきます。どうぞ、会費の納入忘れ等のありませんよう、お願いいたします。

10. 事務局から

齊藤俊雄会長の大阪大学停年退官に伴い、本年度より私の所で事務局をお引き受けすることになりました。不慣れな点が多々あり、会員の皆様にはいろいろご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、なにとぞよろしくご願ひいたします。事務局への連絡は、郵便・FAX・e-mail をご利用下さい。(西村秀夫)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FORUM

今回の Forum 欄では、コーパス検索に有効なプログラムを、その開発者ご自身から紹介させていただきます。一つは、先日の第 7 回例会のシンポジウムで公開された塚本聡氏（日本大学）作の KWIC の仕様について、もう一つは、『英語コーパス研究』第 3 号に作者である浜口崇氏（関西外国語大学大学院生）ご自身によって紹介された KKC の、その後の開発状況についてです。それぞれのプログラムに関するご質問・お問い合わせは、各開発者に直接お願いします。

●KWIC Concordance for Windows

Windows は、コンピュータコーパスの検索に必要な機能を持つ、Windows 上で使用する検索プログラムとして開発したものである。コマンドラインからの入力が必要な Unix ツール類とは異なり、Windows プログラムの特徴であるユーザーフレンドリーな操作性を持っている。

基本機能は、単語リスト作成・インデックス作成・コンコーダンス作成である。個々の機能には更にソート順等の機能がある。

コーパス用ファイルに対応するために、コーパスファイルの参照部の形式、ダイアクリティックスの指定ができる。初期値として HelsinkiCorpus での使用に適した設定がなされている。参照部の形式では、COCOA 形式、SGML 形式に対応し、それらのタグ部分を本文

から識別して、検索対象として選択に利用、また情報として検索出力に付加することができる。

さらに、出力書式に工夫を加え、カンマ区切り等の形式の出力が可能のため、検索結果をデータベースソフトに入力する際の利便さを考慮してある。特に、上記のタグを付加した結果をデータベースで集計する際に便利である。

基本的な操作方法は、始めにコーパスファイルを指定する。必要ならば、参照部形式・出力書式等の設定をする。次にメニューから該当する機能を選択すると、検索処理の結果がファイルに出力される、という簡単な操作で検索処理ができる。ただし、このプログラムでは処理結果は全てファイルに出力されるので、その結果を確認したり印字するためにワープロ等が必要（プログラム内では表示のみ可能）。

入手方法 当プログラムは Niftyserve のデータライブラリーにアップロードされている。詳細は以下の通り。

NiftyServe フォーラム名：英会話フォーラム(FENG) 4:データライブラリー
ライブラリー名：4 （辞書データ検索）プログラム・マクロ・画像
ライブラリー番号：691 データ名：KWIC15.LZH

ダウンロード後適当なディレクトリに Lha を使って解凍する。解凍後、kwic.exe と kwic.hlp の2つのファイルが得られる。特別なインストール作業は不要。

塚本 聡（日本大学 (E-mail address deleted)

●Corpus Wizard/KKC 最新情報

『英語コーパス研究』第3号にソフト紹介を書かせていただきましたが、その後の展開について簡単に紹介させていただきます。

【Corpus Wizard for Win16/Win32】

コンコーダンサーとしての機能がある程度充実してきたので、KKC forWin というのは単なる検索ソフトにすぎない KKC forDOS と混同して紛らわしい、また同じプラットフォーム用の CUI 版を検討していることから CorpusWizard という名称に変更しました。

機能面では、検索結果をエディターに転送してタグジャンプを利用しなくとも、直接 CorpusWizard 上で、任意の行にカーソルをあわせてマウスの左ボタンをダブルクリックすることにより、ファイル名・行番号をエディタに渡してオートジャンプさせることもできるようになりました。ver.0.28 ではアルゴリズムの変更によりコロケーション統計および

KWIC コンコーダンスのソートの所要時間が大幅に短縮されました。コロケーション統計ではすべての結果数にしめる各語の出現回数の割合も出力させることも可能になっています。これらによりさらに使い易くなったのではないかと思います。

Corpus Wizard で開発した関数等を再利用し、Corpus Wizard for Win32 登録ユーザー向けおまけツールとして Win32 環境用の単語数計数プログラム、単語出現頻度計数プログラムも作成し公開しています。ともに全体に占める個々の単語またはファイルの割合を百分率(小数点以下3位まで)で出力させることもできるようにするなど配慮しています。

【KKC for DOS】

現在英語以外のヨーロッパ言語対応のため、コードページ・HTML など複数の手段でアクサン等のついたアルファベットも扱えるようにしてみたテスト版を作成し公開しております。日本語については日本語表示版を差分で添付することにより制限つきながら既に対応しております。

【今後の予定】

現在サブディレクトリ下のファイルも検索する、正規表現対応という2機能について準備中です。

【公開場所】

NIFTY-Serve の英会話フォーラム(FENG)の4番ライブラリ、PC-VAN のウィンドウズフォーラム(SWSWIN)のライブラリ#2、インターネット上の TheCOMMON の他、ホームページを開設し英語版を含め公開しております(URL <http://www2.meshnet.or.jp/~htakashi/indexj.html>)。

浜口 崇 (関西外国語大学大学院生 (E-mail address deleted))

=====

=====
JA ECS Newsletter No.14 (September 5, 1996)

英語コーパス研究会 会長 齊藤俊雄 事務局

657 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学国際文化学部 西村秀夫研究室

TEL/FAX 078-803-0737 (E-mail address deleted)

郵便振替口座 00940-5-250586 (英語コーパス研究会)

=====

=====

1. 第8回例会のご案内

英語コーパス研究会第8回例会は、10月12日(土)に追手門学院大学(〒567 大阪府茨木市西安威 2-1-15 JR 茨木駅・阪急茨木市駅よりスクールバスで約25分)で開催される運びとなりました。会場校のご厚意と丸谷満男運営委員のご尽力に感謝いたします。

プログラムを同封いたしますが、今回は研究発表2件と、最近特に関心を集めているインターネットについてのシンポジウムがあり、充実したプログラムを組むことができました。特にシンポジウムでは、インターネットを積極的に研究に取り入れておられる4人の講師に、最新の動向についてお話しいただくことになりました。どうぞご期待下さい。なお、当初予定しておりました Arne Zettersten 教授(コペンハーゲン大学)の講演は、事情により取りやめとなりました。ご了承下さい。

昨年は午前中に OED2 の CD-ROM のワークショップを開催しましたが、今年も午後のシンポジウムと関連して、「研究者のためのインターネット入門」というワークショップを午前11時から予定しております。場所は例会会場と同じ「フォーラム教室」です。西納春雄先生(同志社大学)に、インターネットへの接続、情報検索の方法などについて、実際にコンピュータを使いながら解説していただく予定です。インターネットをまだ使ったことがないという方、使い始めてはみたものの、まだよく分からないという方のための企画です。参加希望の方は、あらかじめ事務局宛てに、はがき・FAX・電子メールでお申し込みください。先着30名(予定)とさせていただきます。英語コーパス研究会の会員であれば参加費は無料です(非会員の場合は1,000円)。

なお、当日の昼食は学内食堂が営業しておりますので、そちらをご利用下さい。

2. 『英語コーパス研究』第4号原稿募集について

『英語コーパス研究』第4号へに多数の投稿申し込みをいただき、ありがとうございました。原稿提出の締め切りは9月30日です。昨年同様、投稿申し込みをされなかった方からの原稿提出も受け付けておりますので、ふるってご投稿下さい。なお、

投稿要領は次の通りです。

【原稿の種類】 研究論文、研究ノート、コーパス紹介、ソフト紹介、書評、その他コーパス研究に有益な情報。いずれも『英語コーパス研究』誌にふさわしい、コンピュータ利用・コーパス利用を中心に据えたもの。

【原稿提出締切】 9月30日（ハードコピー4部。フロッピーディスクは採用決定後に提出。）

【原稿の長さ】 研究論文は原則として和文35字×30行で15枚以内、英文70ストローク×35行で15枚以内。和文・英文いずれの場合もAbstract（英文）、注、書誌を含む。研究ノートは10枚以下、その他は研究論文の半分以下。

【書式】 第3号所収の論文を参考のこと。

【採否通知】 11月中旬

【刊行予定】 1997年3月25日

3. 新入会員紹介

Newsletter No.13 発行以降の新入会員の方は次の通りです（8月31日現在）。

富岡 多恵子（産能短期大学）(E-mail address deleted)

和田 章（大手前女子大学）

福島 直之（國學院大学）(E-mail address deleted)

4. 寄贈刊行物の紹介

Newsletter No.13 以降、英語コーパス研究会に次の刊行物の寄贈がありましたので掲載させていただきます。今後もコーパス研究関係の論文等を事務局宛てお送り下されば逐次掲載させていただきます。

徳重雅弘「オーラルコミュニケーションAの語彙と文型の調査」

Step Bulletin vol.7 (1995)

5. 会費納入のお願い

本年度会費未納の方は、郵便振替でお納め下さい

（郵便振替口座番号 00940-5-250586 英語コーパス研究会）。年会費は、一般会員 4,000円、学生会員 3,000円です。

Newsletter No.13 でもお知らせしましたが、2年連続で会費納入のない会員にはNewsletter等の送付中止の措置を取らせていただきます。どうぞ、会費納入忘れのありま

せんようお願いいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FORUM

◆Mailing Lists より

この3か月あまりの間に Corpora その他のインターネット上の MailingList で流れた情報の中で、特に重要と思われるものを2件転載します。

Concordance programs available

I have made a couple of Mac (HyperTalk) programs, MonoConc and ParaConc (and their manuals), available over the web. MonoConc is a simple KWIC concordance program that allows sorting and provides some collocational frequency information. ParaConc is similar except that it is a bilingual concordancer designed to work with parallel texts.

It is also possible to download a demo of MonoConc for Windows.

The sites for MonoConc and ParaConc are:

<http://www.ruf.rice.edu/~barlow/mono.html>

<http://www.ruf.rice.edu/~barlow/parac.html>

General information on corpora and text analysis is available on the Corpus Linguistics page:

<http://www.ruf.rice.edu/~barlow/corpus.html>

—Michael Barlow (Linguist, 1996.5.26)

Update on ICAME

At the recent ICAME Conference in Stockholm, it was agreed to change the name to the "International Computer Archive of Modern and Medieval English", taking into account the rapidly growing interest within ICAME in diachronic corpus work. Stig Johansson was replaced as co-ordinating secretary by Matti Rissanen, University of Helsinki, assisted by Merja Kyto, now at the University of Uppsala in Sweden. Both of them are well-known for their pioneering work in the field of English historical corpus research.

The ICAME Journal will continue, with the following editorial team: Merja Kyto, Anna-Brita Stenstrom, Jan Aarts (review editor).

—Stig Johansson (Corpora, 1996.5.31)

◆International Journal of Corpus Linguistics 発刊

Wolfgang Teubert を編集主幹とする International Journal of Corpus Linguistics (IJCL) が John Benjamins 社よりようやく発刊されました。第1巻第1号には次の6点の論文が掲載されています。

Michael Barlow: Corpora for Theory and Practice

Simon Baugh, Andrew Harley and Suzan Jellis: The Role of Corpora in
Compiling the Cambridge International Dictionary of English

Cyril Belica: Analysis of Temporal Changes in Corpora

Patrick Hanks: Contextual Dependency and Lexical Sets

John Sinclair: The Empty Lexicon

Henry S. Thompson: Corpus Work at HCRC

他に書評が4点掲載されています。購読の申し込み・問い合わせは下記まで。

John Benjamins B.V.

P.O. BOX 75577

1070 AN AMSTERDAM

The Netherlands

Tel: +31-20-6738156

Fax: +31-20-6739773

◆「人文科学とコンピュータ」シンポジウム

国文学研究資料館および科学研究費補助金重点領域研究「人文科学とコンピュータ」テキスト処理研究班の主催による標記シンポジウムが、10月17日(木)・18日(金)に機械振興会館(東京都港区)で開催されます。このシンポジウムでは、科学研究費補助金重点領域研究の公募研究班による研究発表の他、「文学と語学におけるコンピュータを利用した研究」と題するパネル討論や、Susan Hockey (Center for Electronic Texts in the Humanities) による特別講演などが予定されています。プログラムの詳細についてお知りになりたい方は、英語コーパス研究会事務局までご連絡下さい。

=====

=====
JA ECS Newsletter No.15 (November 15,1996)

英語コーパス研究会 会長 齊藤俊雄 事務局

657 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学国際文化学部 西村秀夫研究室

TEL/FAX 078-803-0737

(E-mail address deleted)

郵便振替口座 00940-5-250586 (英語コーパス研究会)

=====

=====

1. 第 8 回例会無事終了

英語コーパス研究会第 8 回例会は、10 月 12 日 (土) に追手門学院大学で開催され、盛會裡に終了しました。天候にはあまり恵まれませんでした。90 名を超える参加者がありました。

今回は追手門学院大学のご厚意により、本年 4 月に落成したばかりの情報処理教室 (フォーラム教室) を会場として利用することができました。午前中のワークショップ「研究者のためのインターネット」では、西納春雄先生 (同志社大学) に、接続から情報検索の方法まで、英語研究者に必要なインターネット利用法を指導していただきました (参加者約 30 名)。午後のシンポジウム「インターネットと英語研究」では、インターネットを積極的に研究に取り入れておられる 4 人の講師に、最新の動向についてお話しいただきました。各講師とも会場の最新の設備を活用した、非常に明解な発表で、大いに参考になり、また刺激を受けました。

例会開催にあたっては、会場校の丸谷満男運営委員をはじめ追手門学院大学の関係者の方々に、受付事務については、大阪大学大学院言語文化研究科の上村和美助手および大学院生の方々に、それぞれ大変お世話になりました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

す。

2. 第9回例会の日程と研究発表者募集について

◇1997年度春の例会（第9回例会）は、1997年4月19日（土）午後、同志社大学田辺校地（京都府綴喜郡田辺町）を会場として開催されることになりました。

◇例会での研究発表を次の要領で募集いたします。発表を希望される方は、下記の要領に従って、郵便・FAX・電子メールのいずれかで事務局にお申し込みください。なお、会場はマルチメディア対応教室（Mac環境）を予定しております。コンピュータ等の機器を利用した発表をお考えの方は、その旨を明記してください。

【応募締切】 1996年12月10日（火）

【提出物】 題目と要旨（400～800字程度）

【発表時間】 発表30分＋質疑応答10分

【採否決定】 12月下旬（予定）

【内容】 本研究会にふさわしい、コーパス利

用・コンピュータ利用を中心に据えた研究

◇次回例会でも、情報処理教室を利用したワークショップを行うことを計画しています。具体的な内容については次号のニューズレターでご案内します。

3. 運営委員会から

10月12日午前中に開催された運営委員会で、「英語コーパス研究会」の学会化の問題が議論されました。まだ最終的な結論が出たわけではありませんが、(1)来年度から学会組織にする、(2)秋の例会は関東地区で開催する、という方向で準備を進めることになりました。学会や会誌の名称や運営組織の整備等の問題については、今後運営委員会でさらに検討し、最終的には、第9回例会の際の総会に諮ることになります。本件に関してご意見がありましたら、事務局までお寄せください。

4. 編集委員会の設置について

上の項目とも関連しますが、編集委員会を設置することになりました。『英語コーパス研究』第4号から編集を担当します。委員長には田畑智司運営委員（大阪大学言語文化部）が就任しました。

5. 新入会員紹介

Newsletter No.14 発行以降の新入会員の方は次の通りです（10月31日現在）。

・岡田 毅（山形大学）

(E-mail address deleted)

・木村 利夫（鶴見大学）

・鈴木 三千代（大阪女子大学大学院）

(E-mail address deleted)

・古澤 かおり（四天王寺国際仏教大学）

(E-mail address deleted)

・三好 哲也（龍谷大学大学院）

(E-mail address deleted)

・吉村 耕治（関西外国語大学短期大学部）

(E-mail address deleted)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FORUM

◆The Bank of English について

1996 年の 7 月 15 日から 3 ヶ月間、イギリスのバーミンガム大学 Theo Centre for Advanced Research in English に、The Bank of English を利用する目的で滞在する機会があったので、その報告を行いたい。筆者がいた時点での The Bank of English の総語数は約 3 億 2 千万語で、次のような構成になっていた。

サブコーパス名	語数
Independent broadsheet newspaper (UK)	19,452,295
Australian newspapers	33,378,314
UK ephemera	4,721,964
Popular magazines (UK)	30,137,896
Informal speech (UK)	20,181,050
US ephemera	1,255,655
BBC World Service radio (UK)	18,522,600
Guardian broadsheet newspaper (UK)	24,261,095

New Scientist magazine (UK)	6,087,440
National Public Radio (US)	22,259,602
Books: miscellaneous (UK)	42,127,619
Books: miscellaneous (US)	32,656,385
US newspapers	8,578,632
Economist financial magazine (UK)	12,125,208
Times broadsheet newspaper (UK)	20,950,497
Today tabloid newspaper (UK)	26,606,537

検索には研究者にとって重宝な機能がいろいろと用意されているが(注)、何よりも驚くべきなのは処理速度の速さで、3億数千万語にも及ぶコーパスを瞬く間に検索してしまうのは圧巻である。なお、検索結果はフロッピーにコピーして持ち帰れるほか、筆者の場合、安全のため ftp を使って日本の勤務校のホストコンピュータにすべて転送した。

The Bank of English というコーパス自体に関する評価はいろいろと議論を呼ぶところであると思われるが、このコーパスが主に語彙研究や英語辞書・参考書の編纂を目的として組まれているためか、上に挙げたとおり、テキストカテゴリーの分類が厳密に行われていないのは気になるところである。よって、社会言語学的な調査を行うには注意を要すると思われる。

The Bank of English の利用を希望する研究者は、バーミンガム大学 The Centre for Advanced Research in English 所属で、実際の作業は大学に隣接した Research Park にある COBUILD の敷地内で行うことになる。コーパスの使用料は最初の4週間は£150/週で、それ以降は£100/週であった。

(注) 検索の方法は、COBUILD がインターネットを通じて The Bank of English の一部へのアクセスを提供している Cobuild Direct とほとんど同じである。

大津 智彦 (大阪外国語大学
(E-mail address deleted)
)

◆JACET 英語辞書研究会シンポジウム

日時： 1996 年 12 月 14 日 (土) 14:00-17:00

場所： 旺文社北館地下 1 階ホール

テーマ： 英語辞書編集と今日的課題 (1)

司会： 村田 年 (千葉大学)

提案者：

- ・ 赤須 薫 (東洋大学) 「語義とコロケーションの諸問題」
- ・ 井上永幸 (島根大学) 「文法・語法の記述とコーパスの可能性」
- ・ 南出康世 (大阪女子大学) 「言語的差違(Language Variation)と辞書記述」

問い合わせ先： 村田 年

TEL/FAX 0474-23-5475

(E-mail address deleted)